



こんにちは

日本共産党

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

各地で議会報告 金森とおる衆議院京都3区予定候補も駆け付け 国政語る



春日丘中学校区で



栗陵中学校区+醍醐学区で

2月市会が3月末に終了し、府市会報告会を開きました。衆議院京都3区予定候補の金森とおるさんも参加され、自己紹介に加えて国政報告をされました。西野さち子市議は「市長から101議案が提案され、日本共産党はそのうち30議案に反対し、ほかは賛成しました。京都市は市民サービスや社会保障費を年間40億円、5年で600億円削減する計画です。このような予算案には反対をしました。そして、今後大型公共工事が相次ぎます。市庁舎や中央卸売市場第一市場、美術館など必要な整備ですが、身の丈に合った規模にすべきです」と報告しました。金森とおるさんは「日本共産党の国会議員の議席が35議席に増えて、質問時間が大幅に増えました。すべての委員会に日本共産党の議員がいます。皆さんのいのちや暮らしを守る政治をつくるためにも、日本共産党を大きくしてください。私も頑張ります」と訴えました。

北醍醐や栗陵校区では、「敬老乗車証を守っていききたい」「介護保険制度がどんな改善される。どうなるのか不安」「焼却灰溶融炉の裁判はどうなっているのか。溶融炉は動いていると思うている人もいる」などの意見が出されました。

春日丘校区では、「新十条の高速道路は最初から車はあまり通ってなかった。でも、113億円も市民の税金を負けてあげるのはいかがかい」「新池の工事は昨年で終わっているはず。でも、排水などの工事は終わっているのか。台風の季節までに完了してほ

しい」「小栗栖のソーラーパネルの枚数が増えていつている。計画通りなのか」などの意見が出されました。

西野さち子市議は、出された意見に答えながら、「調査が必要な件については早急に調べます」と答えました。

共謀罪NO!で宣伝

日本共産党市会議員団は、市会の閉会本会議の後、三条河原町で多くの観光客が行きかう中、「共謀罪」に対して反対の宣伝と署名をしました。安倍内閣は4月6日に国会提案をしました。安倍首相は「一般の国民は対象にならない」「この法律がなければ2020年のオリンピック・パラリンピックが開けない」などの説明をしています。しかし、国会議論の中で、今ある法律で取り締まりは十分できるということは明らかになっています。また、かつての治安維持法では全く関係のない一般国民が投獄されたことから見ても、非常に危険な法案です。弁護士会や法の専門家からも反対の声が相次いでいます。一緒に声をあげましょう!



